

サポートツール実証データ

実証研究実施者	藤林 美江
区分 1	国語
区分 2	読む
領域	文章の音読
困難	<ul style="list-style-type: none"> ・音読を極端に嫌う。 ・学級での音読の学習では、極度の緊張から、第一声がなかなか出せない。 ・音読の学習で、極度の緊張から、聞こえないような小さな声しか出ない。 ・読み速度が遅く、スムーズに読めない。 ・文末の誤り、勝手読みがある。 ・単語認識の課題がある。 ・音読時、目を細めて読む。
サポートツール	カラーシート
学年	小学校4年生
試用期間	3週間（平成25年2月6日～24日）
使用場所	通級指導教室・家庭
使用上の注意、条件	<p>本児は、「単語認識」に課題があるため、音読する教科書にあらかじめ、「スラッシュ」をつけておく。</p> <p>また、音読に対する苦手意識が非常に大きく、読める漢字も自信をもって読めないため、「読み仮名」もつけておく。</p>
使用状況 ＜授業の構成等＞	<p>平成25年2月5日に、通級指導教室で以下のことを試す。</p> <p>(1) サポートツールを選ぶ 教科書を使って</p> <p>①まず、何もカラーシートをおいていない状態と「グラスグリーン」を教科書においた状態とで、どちらが見やすいか比べる。 →よく見比べて「グラスグリーン」を選択。</p> <p>②グラスグリーンで、「艶あり面」、「艶なし面」を比べる。 →「ツルツルの方が見やすい」と「艶あり面」を選択。</p> <p>以下、「艶あり面」で比較していく。</p> <p>③「グラスグリーン」と「ピンク」を比べる。 →「グラスグリーン」と即答。</p> <p>④「パープル」、「スカイブルー」と順に比べる。 →いずれも「グラスグリーン」を選択。</p> <p>⑤「グラスグリーン」と「イエロー」を比べる。 →「イエロー」をおいた途端、表情が変わり、思わず「見やすい！」と言う。 迷わず「イエローがダントツ1位」</p> <p>(2) 4年教科書 下 「初雪のふる日」を実際に音読してみる。</p> <p>A：イエローについているラインを使って音読。 B：スリットをイエローの上のせて音読。</p> <p>・音読中の様子</p> <p>①読み速度にはっきりとした違いはない。</p> <p>②はっきり違っていたのは、 A・・・読んでいる間、体や首、足がずっと動いている。 B・・・おいた途端、ニコッ。「見やすい！」</p>

	<p>読んでいる間、体や首、足が動かなくなった。</p> <p>Aより読むことに集中できている。少し声が大きくなった。</p> <p>③スリットだけとBと比べても、「Bがいい！」と即答。</p> <p>理由は、「見やすい」から。</p>
<子どもの様子>	子どもの声 「明るく見えるから、読みやすい。」
留意事項	指導者側の注意として、カラーシートにスリットを重ねるときは、ズレのないよう、きっちり貼り付ける。ズレることで、注意がそれ、音読に集中できないことがあった。
評価	<p>保護者より</p> <p>読み方がうまくなったわけではないが、1日も忘れることなく、気に入ってシートを使用していた。</p> <p>カラーシートを使うことにより、見え方に課題がある子ども、または、課題のない子どもにも、それぞれ見やすいカラーがあることが分かった。(他の読みに課題がある子どもは、「グラスグリーン」を選択)</p> <p>本児が「イエロー」が「明るくて読みやすい」と言ったのは、文字の黒色とカラーシートの「イエロー」の組み合わせは、コントラストをはっきりさせるため、読みやすいと感じている。</p> <p>ただ、読み自体が改善されることはなかった。</p> <p>ガイドラインを使っでの音読では、同じ行を読みそうになる。横に似ている言葉があるとその行を読んでしまいそうになるということが、日頃と同じようであった。</p> <p>カラーシートの上に、スリットを重ねてこそ、このようなストレスがなくなり、読みに集中できるということが分かった。</p> <p>また、カラーシートにスリットを重ねたものを使用しても、教科書に「読み仮名」「スラッシュ」がなければ、音読がスムーズにできない。</p> <p>両方の支援があってはじめて、本児がストレスをあまり感じることなく、音読ができる。</p> <p>本児のように、デコーディングと単語認識の課題、視覚探索の課題がある子どもにとっては、カラーシートとガイドラインだけでは、読みの改善は難しい。しかし、カラーシートを使うことで、「明るくて見やすい」と言って、積極的に使用していることから、読むことに対するストレスを減らしているということが言える。</p>
サポート・ツールの概要	 <p>カラーシート 10色</p>